

事務事業評価シート

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	奥本 敏文	

(R1)No.	7012	(H30)No.	7012
会計区分		事業コード	007012
水道事業会計		(中事業名)※予算書事業名	
款			
項		(小事業名)	
目			

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	4	上水道
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
持続可能で安心安全な水道サービスの提供
事業内容
名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図ります。また、水道水源の保全や水質の向上に努め、安心して飲める良質な水道水を供給します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)	
主な事業の実績・計画	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等	
	<H29繰越分> 資本的支出 642,631千円 <H30現年分> 収益的支出 1,886,767千円 資本的支出 746,351千円	<H30繰越分> 資本的支出 460,565千円 <R1現年分> 収益的支出 1,994,678千円 資本的支出 993,251千円	

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費	642,631千円	2,472,826千円	460,565千円	2,794,335千円	3,539,442千円	3,115,752千円	3,702,470千円
内訳(千円)							
国・県支出金	0	0		0			
地方債	0	0		0		509,800	623,900
一般会計からの繰入金	0	126,172		92,598	182,305	105,585	123,213
一般財源	642,631	2,346,654	460,565	2,701,737	3,357,137	2,500,367	2,955,357
人工数							
職員		18.00人		17.00人	17.00人	17.00人	17.00人
臨時職員等		4.48人		4.48人	4.48人	4.48人	4.48人
②概算人件費	0千円	160,292千円	0千円	193,594千円	193,594千円	193,594千円	193,594千円
①+②総事業費	642,631千円	2,633,118千円	460,565千円	2,987,929千円	3,733,036千円	3,309,346千円	3,896,064千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
老朽化施設・老朽管の更新・改良を実施し、耐震性の向上など災害に強い水道施設整備に努めました。安定供給のリスクに対し、迅速な対応ができるよう策定している「名張市水安全計画」により、安全で良質な水の供給に努めました。平成30年度の経常収支比率は97.1%です。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
人口減少や節水機器の普及などにより料金収入が減少傾向である中、水道施設の更新需要がますます増大し、厳しい経営状況が続くことが予想されます。安定的に事業が継続できるよう、水道ビジョンに基づき中長期的視点にたった計画的な事業運営に努めます。	名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)